

IDE 高等教育研究フォーラム

共催：IDE 大学協会・千葉大学

『コロナ禍後の大学教育像』

コロナ禍は日本の大学教育にとっては大きな危機となりましたが、その反面で遠隔授業の使い方など、大学、教員、そして学生は様々な経験を得ました。遠隔技術を用いてどのような新しい大学教育・授業が考えられるのか、それを実現するには何が必要か。大学教育改革のこれまでの流れの中で、それをどう位置付けることができるのか。こうした点を話題提供者と会場の参加者が討論します。会場の模様はウェビナーでも公開する予定です。

日時：2022年3月24日（木） 15:00～17:30

場所：東京都神田一ツ橋 一橋講堂2階会議室（内容はウェビナーでも公開）

◆話題提供

15:00～15:10 開会挨拶 大崎 仁 副会長

15:10～15:50 話題提供 「ハイブリッドな学びと大学教育の革新」
溝上 慎一（桐蔭横浜大学学長）

15:50～16:30 話題提供 「コロナ禍後の大学教育像」
金子 元久（筑波大学特命教授）

16:30～16:40 休憩

16:40～17:30 ディスカッション

司会：吉田 文（早稲田大学教授）

◆参加費（ウェビナー参加を含む）： IDE 個人会員（維持・学生） 無料、
千葉大学教職員 無料、
一般（非会員） 1,000 円

◆申込方法：IDE 大学協会 Web サイトに掲載の申込 URL よりお申込みください。

◆申込開始：2022年2月15日（火）13:00より。定員（会場50人、ウェビナー80人）になり次第締め切り

※詳細はIDEのウェブサイト(<https://ide-web.net/>)をご覧ください。